

花

センターだより

緑

2009・3
8号

(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

意外に知らない「身近な植物英語」から考えるまちづくり

第四回「チャリティー、サービス、ボランティア」

兵庫県立淡路景観園芸学校

主任景観園芸専門員 平田 富士男

●まちづくり活動に関連する英語

一年にわたり続けてきたこの連載もこれで最後です。そこで最後に、話を花みどりから少し「まちづくり」に広げて、それに関連する英語を取り上げてみたいと思います。

今、まちづくり活動の現場には多くの「ボランティア」のみなさんがいて、その大きな担い手となっています。この「ボランティア」、日本語に訳すと何になるでしょう。そう「奉仕活動」ですね。と、言いたいところですが、実はそれは「間違い」です。お手持ちの英和辞典で「volunteer」をひいてもたぶんそこには「奉仕」の文字は出てこないと思います。代わりに目に付く文字は「志願、志願兵、義勇軍、…」ではないでしょうか。ずいぶん勇ましい意味ですね。では、逆に「奉仕」を今度は和英辞典で確かめてみましょう。たぶん、そこには「service、attendance」などが並び、「volunteer」はないと思います。なかには「bargain」という単語が見つかるかもしれません。そうです、ボランティア≠奉仕なのに、いつのころからかわが国ではボランティア=奉仕という訳が定着してしまったのです。一方、奉仕に似た言葉に「チャリティー(charity、慈善)」があります。この語源を調べるとラテン語のcaritas(愛情)、curare(気にかける、世話をする)から来ているそうです。これに対して「サービス」はserve(仕える)という意味ですから、チャリティーが上から下への愛を込めた行動であるのに対し、サービスは下から上へのお仕えのように感じます。ですから、「仕える」という意味のある奉仕は、まちづくり活動を説明する言葉としては実はそぐわないところがあるのです。花壇のお世話などの活動を見ていると、奉仕よりチャリティー(愛情をもって世話をする)の方が概念としては近いのかも知れません。

●まちづくりへの愛と自発が生まれる工夫を

さて、話をボランティアに戻しましょう。先ほどの訳を見てみると、ボランティアは、客観的に人間の行動を説明しているだけの言葉であり、そこ



花と緑のまちづくりは愛をもって自発的に

にチャリティーのような道徳的意味はありません。「自ら志願する行為」はすべてボランティアであって、その行為自体の善悪を問うてはいませんし、「有償か、無償か」の議論もありません。大事なものは、自ら志願して行動しているかどうかなのです。無償でも頼まれ仕事はサービスであり、お礼を受け取ったとしても自ら志願した行為であればボランティアなのです。そう考えると、私はボランティアに一番ぴったりの訳は「自発」ではないかな、と思っています。

しかし、わが国のまちづくりボランティア活動でも、その訳語には「自発」ではなく、ごく自然に「奉仕」の語があてられます。まちづくりは、自分たちのすむまちをよりよいものにしていく活動ですから、自分の家のお庭をきれいにしたり、お家を修理したりするのと同じで、本来いそいそと楽しく自発的に行われても良いはずですが、そこになぜか奉仕という言葉がつい使われてしまう背景には、その活動による成果が、自分の利益として具体的に返ってくるのがわかりにくい、ということがあるからだと思います。ですからまちづくりに先導的に取り組む人々には、活動を展開するとともにそこから得られた利益をわかる形で発信していくことが重要になってくると思います。それが、ボランティアに本来の意味「自発」を取り戻すことにつながるのでしょう。私もボランティア本来の意味「自発」が自然に用いられるようになる日を、そしてまちづくりが愛と自発で満ちた行動・活動となる日が早く来ることを祈りながら、教育研究活動に取り組んでいきたいと思っています。一年間おつきあいいただきありがとうございました。

グリーンアートのめざすもの —神戸ビエンナーレ2009での新しい試み—

神戸ビエンナーレ2009ディレクター

(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎

1 はじめに

2009年10月から約2ヶ月間、港まち神戸において、ビエンナーレが開催されます。今回の統一テーマは、「わ wa」です。

平和の「わ」、調和の「わ」、「和み」の「わ」、環の「わ」そして、輪の「わ」と多様性のある意味を含意したテーマです。

今回、新たに生きた植物を利活用するグリーンアート部門が初めて登場します。

皆様にとって、チャレンジしやすいカテゴリーと思いますので、奮ってご参加下さい。

以下に、その概要を紹介いたします。



2 神戸ビエンナーレの背景と目的

神戸は、その地理的・地形的条件により古くから陸海の交通の要衝として栄え、異文化交流の最先端として、多様な芸術文化の流入を体験し、現在に至るまで、その多様で重厚な文化が根付き、共存して発展してきました。また平成7年に発生した阪神・淡路大震災により傷ついた心を癒し、復興への勇気を与えてくれた芸術文化の感動は、多くの市民にとって忘れえぬものになっており、芸術文化は、震災復興の活力として大きな役割を果たしました。

こうした神戸のまちの歴史・経験を踏まえ、震災10年を機に文化を生かしたいいきと進化するまちづくりの基本理念として、平成16年12月に「神戸文化創生都市宣言」を行いました。そして、神戸に文化の力を結集して内外に発信する機会を設け、神戸の芸術文化の更なる振興を図ると共に、まちのにぎわい、活性化につなげるため、2年に一度の芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」を2007年に開催し、その大きな反響を受けて、2009年の10月3日から52日間、神戸ビエンナーレ2009を開催いたします。

(ビエンナーレとは、2年に1回開催する芸術アートのイベント)

3 神戸ビエンナーレ2009のテーマ

テーマ：「わ Wa」

4 主催等 神戸ビエンナーレ組織委員会・神戸市
共催 兵庫県

5 グリーンアート

(1) 趣旨

近年、地球的規模における環境問題の顕在化は、人類の生存基盤まで関わる問題として、ようやく認識されはじめており、現存する我々、人間の生き方、暮らし方そのものが問われています。特に、地球温暖化防止や生物多様性の保全に対しては、緑の果たす役割は大きく、特に人工空間としての都市地域の環境改善に大きく寄与することは周知のとおりです。

神戸市は、これまでも都市緑化など積極的にすすめ、わが国を代表する環境先進都市として位置づけられており、今後とも市民との協働のもと、そのリーディング役を果たしていくことが求められています。さらに、神戸市は、わが国有数の園芸生産地で、美しい都市環境の形成を図るため、美緑花運動の展開を積極的に進めるなど、市民レベルでの園芸文化が蓄積されています。

今回の神戸ビエンナーレ2009では、こうした背景のもと、生きた植物を利活用し、植物の生長・増殖という生命現象を表す「時間」を意識しながら、美的価値を創造・表現する文化的行為として、新たに「グリーンアート」という新分野を提案し、デザイン都市神戸から世界へ発信するものです。

(2) 構成

グリーンアートは以下の3部門に分かれています。なお、まちなかグリーンアートは、コンペやコンクール対象外です。

① グリーンアートコンペティション

会場となる神戸メリケンパーク内に設置された輸送用コンテナ「L6.0m×W2.4m×H2.5m」を活用し、自由な発想と方法で「グリーン(根付きの生きた植物)」の力と可能性を表現するものです。

● 展示期間：2009年10月3日(土)

～11月23日(月・祝)：52日間

● 展示会場：神戸メリケンパーク



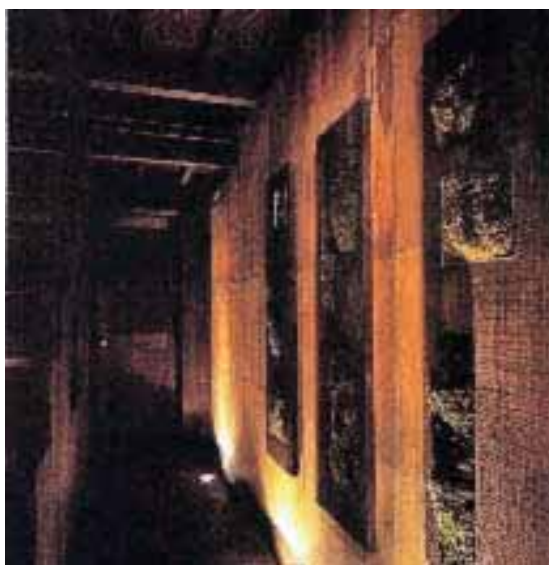


- 賞・賞金：神戸ビエンナーレ大賞 1作品
賞状、トロフィー、賞金100万円
入賞 6作品
賞状、賞金20万円

◎神戸ビエンナーレ大賞は、入賞作品から選びます。

- 審査委員：

石原憲一郎	景観園芸家・
	兵庫県立淡路景観園芸学校校長
鷹見 明彦	美術評論家
たほ りつこ	パブリックアーティスト・
	東京藝術大学先端芸術表現科教授
吉田 泰己	華道家・
	神戸ビエンナーレ2009 総合ディレクター
涌井 史郎	造園家・桐蔭横浜大学特任教授
- 応募期間：2009年6月8日(月)
～6月19日(金) 17:00必着



グリーンアート展示(コンテナ内) イメージ
「コケの掛け軸」 「indoor green style」誌より

② 市民園芸アートコンクール

会場内において、心に安らぎを与え、暮らしに潤いをもたらす植物やその他の素材を用いた園芸アートを行うことにより、神戸ビエンナーレ2009への市民の参加を促進すると共に、未来に向けて美しい神戸のまちづくりに寄与することを目的としています。

- 展示期間：2009年10月31日(土)
～11月15日(日)：16日間
- 展示会場：神戸メリケンパーク

- 賞・賞金：市民園芸アート大賞 1作品
賞状、賞金10万円
特別賞 6作品 賞状、賞金2万円
入賞 20作品 賞状

◎市民園芸アート大賞、特別賞は、入賞作品から選びます。

- 審査委員：

石原憲一郎	景観園芸家・
	兵庫県立淡路景観園芸学校校長
ジャルディニエ	佳代子 ガーデンデザイナー
瀬戸本 淳	建築家
吉田 泰己	華道家・
	神戸ビエンナーレ2009 総合ディレクター
- 応募期間：2009年6月22日(月)
～7月3日(金) 17:00必着

- 出展条件：

作品のサイズは、1m(幅)×1m(奥行)×1m(高さ)以内。入賞者には、苗の購入や作品搬入・搬出時の運搬など、設置に関わる経費として、1作品につき1万円の助成を行います。



市民園芸アート展示 イメージ
2008ガーデンコンペ・ひょうご出展作品

③ まちなみグリーンアート

神戸の三宮、元町等において視認性の高いビルの壁面や屋上等の建物空間を活用し、根付きの植物を利用して、美的価値を創造するもので、まちなかの主な場所、3～5か所に兵庫県立淡路景観園芸学校の学生を含む関西の造園・園芸およびデザイン系の大学生有志による展示展開を行うものです。

現在、具体的な方法、展示場所等を検討中です。

問い合わせ 応募方法、提出書類、審査スケジュール、審査料等詳細は、
<http://www.kobe-biennale.jp> を参照して下さい。



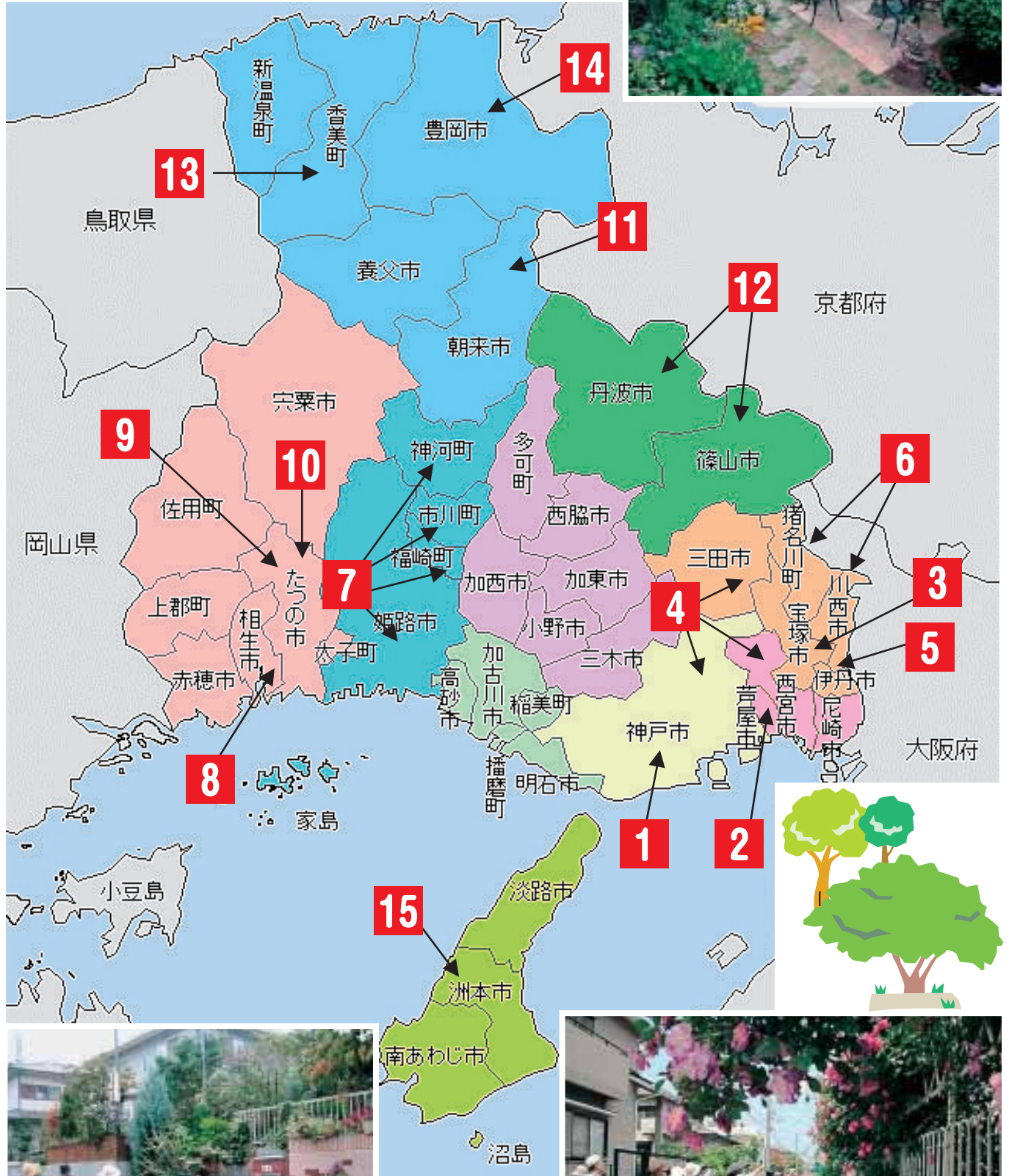
2009年 春のオープンガーデン情報

4月から6月にかけて兵庫県下で開催されるオープンガーデンの日程をご案内します。

地域	名称	日程	問い合わせ先
1 神戸市	花ハート神戸 オープンガーデン'09	4月19日(日)、20日(月) 5月24日(日)、25日(月) 10:00~16:00	花と緑のまち推進センター ☎078-351-6756
2 芦屋市	芦屋市オープンガーデン	4月18日(土)~29日(水) 10:00~16:00	芦屋市都市環境部公園緑地課 ☎0797-38-2065
3 宝塚市	宝塚オープンガーデンフェスタ ※宝塚オープンガーデンの会と 同時開催	4月24日(金)~4/29日(水) 10:00~17:00 ※バラの情報もお伝えします(遠藤)	あいあいパーク オープンガーデン係 ☎0797-89-5933 遠藤(宝塚オープンガーデンの会) ☎0797-87-0761
4 三田市 神戸市北区 西宮市北部	三田花と緑のネットワーク オープンガーデン (三田市は三田まちなみ ガーデンショー協賛)	5月23日(土)~25日(月) 三田市 10:00~17:00 5月31日(日)~6月1日(月) 神戸市北区・西宮市北部 10:00~17:00	三田市役所 ☎079-559-5253 (公園みどり課 花とみどり係) 黒木(三田花と緑のネットワーク) ☎090-5067-9620
5 伊丹市	オープンガーデン伊丹	4月11日(土)~5月25日(月)	三上(大池橋ミニバラ公園グループ) ☎090-3629-1827
6 猪名川町 川西市	いながわ川西 オープンガーデン	5月22日(金)、24日(日)、26日(火) 10:00~12:00 13:00~17:00	NPO法人 さわかや緑花クラブ ☎072-766-1554
7 姫路市 神崎郡	中播磨オープンガーデン 2009	4月17日(金)~19日(日) 5月22日(金)~24日(日)	澤田(中播磨ハートフルネット) ☎0790-22-1784
8 相生市	まちなみガーデンAIOI	4月25日(土)~29日(水) 10:00~16:00	相生市まちづくり推進室 ☎0791-23-7130
9 たつの市	花まつり (ひとひらの花)	4月26日(日) 11:00~14:00	山口 ☎0791-77-0222
10 たつの市	チューリップコンサート (ちづちゃんの花園)	4月19日(日) 13:00~15:00	松浦 ☎0791-77-0076
11 朝来市	あさごオープンガーデン	6月12日(金)~18日(木)	朝来花いっぱい協会 ☎079-677-1165
12 丹波市 篠山市	たんばオープンガーデン	4月19日(日)~20日(月) 篠山市西紀地区・丹波市春日町・市島町 5月17日(日)~18日(月) 丹波市柏原町・氷上町・青垣町 5月24日(日)~25日(月) 篠山市篠山地区・丹南地区・今田地区	(財)兵庫丹波の森協会・ 丹波の森公苑 ☎0795-73-0933
13 香美町	訓谷オープンガーデン	4月19日(日)~20日(月) 9:00~17:00	佐津地区公民館 ☎0796-38-0845
14 豊岡市	豊岡オープンガーデンショー	5月29日(金)~6月2日(火) 日高町 6月5日(金)~9日(火) 日高町以外	美方地区公民館 ☎0796-44-1275
15 淡路島内	あわじオープンガーデン	5月9日(土)~10日(日)	あわじオープンガーデン実行委員会 ☎0799-53-5880

2009年 オープンガーデンマップ

知らない町のオープンガーデンを訪ね、
うららかな季節を満喫してみませんか



平成20年度 花緑いっぱい運動推進員研修会及びワークショップ報告

県下で花と緑に関する意識が高まっていますが、その盛り上がりを一過性のものとせず、一層推進するため、花緑を使ったまちづくりの核となる人材である“花緑いっぱい運動推進員”と一般県民を対象とする「平成20年度花緑いっぱい運動推進員研修会及びワークショップ」を県下6か所で開催しました。

近年、地域の緑化活動を支えるボランティアの方々の高齢化と人員不足が進み、植え替えをはじめとする日々の花壇管理が十分にできない状況になりつつあります。

このような状況の中で、年数回の植え替えを伴う一年草の花壇ではなく「持続型花壇の造成について」をテーマに、植栽後数年間は楽しめ、愛着がわく宿根草や樹木を主体とした費用と手間をかけない、ローコスト・ローメンテナンスの花壇づくり、これからの花壇をどうしていくのかなどを話し合い、実習を行いました。

○中播磨・西播磨地域

開催日：平成20年7月8日(火)

場 所：県立赤穂海浜公園

参加者：28人

講 師：稲澤 範治 (ひょうごガーデンマイスター※)

内 容：園内の枯れた芝生地を利用して花壇を造ろう!!ということで参加者が花壇デザインをし、植え付けを行いました。防草シートを敷いた後、土入れ作業から開始しました。花壇内にあったマンホールの上には寄せ植え鉢を置き、砂利を敷いて目隠しし、来園者に喜んでもらえる花壇が完成しました。



○神戸・阪神南地域

開催日：1回目 平成20年7月10日(木)

2回目 平成20年10月27日(月)

場 所：県立舞子公園

参加者：1回目 49人

2回目 35人

講 師：加賀 文代 (ひょうごガーデンマイスター※)

内 容：講義及びワークショップを行う日とワークショップの中で決定されたデザインを基に植栽する日に分けて、2度にわたり実施しました。「波花」をイメージしたデザインに常緑木本、セダム、球根、宿根草をうまく使った花壇ができました。



○阪神北・丹波地域

開催日：平成20年11月27日(木)
場 所：県立有馬富士公園
参加者：18人
講 師：岡井 久夫 (ひょうごガーデンマイスター※)
内 容：昨年植栽した花壇をリニューアルするための講義、実習が行われました。
今回補植した植物は、チューリップ、ビオラのみで見事にリニューアルし、春が待遠しい花壇が完成しました。



○淡路地域

開催日：平成20年11月28日(金)
場 所：南あわじ市伊加利山口
参加者：21人
講 師：武田 里美 (ひょうごガーデンマイスター※)
内 容：パワーポイントを使って、花壇設置、デザインの講義が行われました。
淡路瓦を積んで花壇の縁取りと通路作り、土入れから始まりました。ハーブ類を中心にした素敵な花壇ができました。



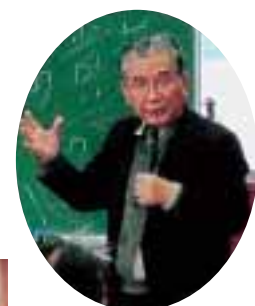
○東播磨・北播磨地域

開催日：平成20年12月 5日(金)
場 所：高砂市 市ノ池公園
参加者：39人
講 師：本白水 マスヨ (ひょうごガーデンマイスター※)
内 容：市ノ池公園内にある縦長の少しカーブした花壇で実習を行いました。
花壇を3ブロックに分け、それぞれ班ごとにデザインを考え、一つの作品を完成させました。



○但馬地域

開催日：平成20年12月 8日(月)
場 所：兵庫県豊岡総合庁舎 会議室
参加者：42人
講 師：藤岡 作太郎 (花と緑のまちづくりセンター 技術顧問)
内 容：但馬地域の園芸と生活文化の取組み、考えられる拠点づくり、まちの個性美と機能を考えて当面期待する但馬の花と緑についての講義が行われました。



アジアンタムの葉が枯れてしまった

Q アジアンタムの葉がチリチリになって枯れてしまいました。回復できるでしょうか。

A アジアンタムは、細い葉柄にみずみずしいグリーン色のイチヨウ形の小さな葉をたくさんつけたシダ類の一種で、特に夏は清涼感を漂わせて人気があります。

葉がちぢれて枯れる原因は、水ぎれ、湿度不足、肥料のやりすぎ、水分過多による根腐れ等があります。空気の乾燥しやすい冬や冷暖房をしている部屋に置いた場合に多く発生しやすいようです。

もし葉がちぢれたら、回復しません。この時はできるだけ早く対処することにより、簡単に再生できます。地際の新しい芽を痛めないように1茎ごといいねいに株元から切り、霧吹きで水を1日2〜3回かけ生育を促すと、やがて新芽が出て、1ヵ月もすれば葉が開き始めます。風の当たる場所に置かないことが大切です。

また、鉢が株でいっぱいになると土が乾きやすくなり、生育が鈍るので、5月〜8月の暖かい時期に植え替えや株分けをします。



ツツジが大きくなって樹形が乱れた

Q 庭植えのツツジが大きくなって樹形が乱れてしまいました。低くまとめたいたのですが、どのようにすればよいでしょう。

A 庭植えの常緑性のツツジ、例えば大型のヒラドツツジなどは、放っておくと枝が伸びすぎて樹形が乱れてしまいます。

ツツジは強い刈り込みに耐える丈夫な性質を持っているので、樹形を小さくしたい場合は、直径2〜3cm位の太い枝の部分まで切り戻します。切り戻すと、太い枝から新芽がたくさん出てきて、2〜3年後には花が咲きます。

一般にツツジ類の花芽は、その年に伸びた枝先に7月から8月にかけてつくので、毎年花を見ようとおもえば、開花直後の5〜6月に行います。

剪定する枝の長さは、前年に伸びた枝を根元まで切り落とす程度とします。

毎年剪定をして形を整えることにより、美しい樹形を保つことができます。



●●● 季節の園芸相談 ●●●

相談員 福本 誠

ポインセチアを来年も楽しむ手入れ

Q ポインセチアを来年も楽しみたいのですが、今後どのように管理したらよいでしょう。

A 冬越ししたポインセチアは、5月頃から気温の上昇とともに新芽が伸び始め、同時に鉢の中では根も力強く伸び始めます。この時期に株の切り戻しと植え替えをして株のリフレッシュをします。

切り戻しは、株全体の形を見ながら苞<ほう>（赤く色づいているところ）を切り取って、下の方からも芽がでるようにしてこんもりした姿にします。

植え替えは、株を鉢から抜いて根鉢を少しくずし、傷んだ根は土ごと除いて、一回り大きな鉢に水はけの良い土（例えば赤玉土（小）6、腐葉土4の配合土に、緩効性化成肥料を土1ℓ当たり3g施す）に植え付けます。

10月下旬まで水と肥料を切らさないように戸外で管理します。

1月になると小さいですが、苞<ほう>が色づき、緑濃い観葉植物として楽しむことができます。クリスマスに赤くするには、9月上旬より夕方5時から翌朝8時まで段ボールの箱をかぶせて暗く（短日処理）します。60〜90日で苞<ほう>が赤くなります。

スイカの人工受粉

Q スイカの実つきがよくないので、確実に実をつけるため、人工受粉をしたいと思います。方法を教えて下さい。

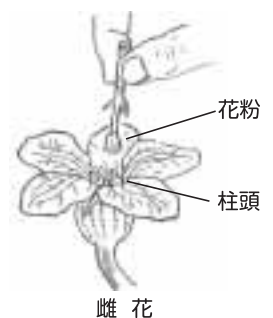
A スイカには雌花と雄花があります。昆虫により受粉されますが、気象条件などにより受粉が不十分な場合があるので、確実に実をつけるには、人工受粉をします。

人工受粉は花粉の寿命が短いので、開花当日の午前9時までには交配します。雨の日や曇った日は、花粉が出るのが遅いので、受粉の時刻を遅くして、9時以後にします。

開花した日の朝、8〜9時頃までに雄花の花弁を取り除き、葯<やく>をむき出しにして、雌花の柱頭に花粉を数回軽くこすりつけ、開花日を書いたラベルをつけておきます。

受粉すると、4〜5日後には子房が急に肥大します。

開花後50〜55日後になったら、試し取りをして食べてみて、熟していれば、同じ日に人工受粉したものは熟度がよくなっています。



平成21年 4～5月 園芸教室のご案内

事前申し込みが必要。受講料は1回100円。

時間：13：30～15：30

日程・申し込み受付開始日は変更になることがあります。

会場：花と緑のまちづくりセンター研修室

但し、寄せ植え教室はサービスセンター西館

●お申し込み先●

花と緑のまちづくりセンター(9:00～17:00)

TEL.078-918-2405

FAX.078-919-5186

Eメール：info_midori@hyogopark.com

●一般講座

No.	日程	課題名・内容	定員	講師名	申込開始日
1	4/5 日	(体験) 明石公園の自然観察① ・明石公園内を散策しながら自然に親しむ	30	明石公園の自然に親しむ会 兼光 たか子	3/15
2	4/17 金	(講義) 春の草花と夏花壇 ・最近人気のある春まき草花の種類・作り方、家庭での春・夏花壇作りについて解説	50	園芸研究家 南波 英夫	4/1
3	4/18 土	(講義) 園芸病虫害防除と薬剤使用法 ・害虫・病気の見分け方と発生生態、および適切な薬剤の使い方	50	花と緑のまちづくりセンター 山田 益男	4/1
4	4/19 日	(体験) 春の草花の寄せ植え ※材料費別途2,000円 ・春を彩る草花の寄せ植えを基礎から楽しく学ぶ実習： 午前10:00～ ・午後1:30～	各20	フラワーセンター 岡田 ちづよ	4/1
5	4/24 金	(講義) 春・夏野菜の作り方 ・春・夏野菜の作り方と年間作付け計画について解説	50	フラワーセンター 桐村 義孝	4/15
6	5/3 日	(体験) 明石公園の自然観察② ・明石公園内を散策しながら自然に親しむ	30	明石公園の自然に親しむ会 兼光 たか子	4/15
7	5/15 金	(講義) 洋ランの育て方 ・代表的な洋ランとミニ洋ランの育て方について解説	50	花と緑のまちづくりセンター 山田 益男	5/1
8	5/16 土	(講義) 植物の成長のしくみと特性 ・栽培に役に立つ植物生理について解説	50	花と緑のまちづくりセンター 山田 益男	5/1
9	5/17 日	(体験) ハングングバスケットづくり ※材料費別途2,000円 ・春を彩る草花をハングングバスケットに寄せ植えする： 午前10:00～ ・午後1:30～	各20	フラワーセンター 永田 鈴子	5/1
10	5/24 日	(体験) 生け垣の管理 ・生け垣の刈り込みについて実習を交えて解説	30	兵庫県造園 建設業協会	5/1
11	6/7 日	(体験) 明石公園の自然観察③ ・明石公園内を散策しながら自然に親しむ	30	明石公園の自然に親しむ会 兼光 たか子	5/15
12	6/12 金	(体験&講義) バラの剪定と開花後の手入れ ・バラを次々と咲かせるための手入れ法を実習を交えながら学ぶ	30	フラワーセンター 高田 正	6/1
13	6/13 土	(体験) 食虫植物の寄せ植え ※材料費別途2,000円 ・今話題の珍しい食虫植物を使って寄せ植えを学ぶ： 午前10:00～ ・午後1:30～	各20	フラワーセンター 土居 寛文	6/1
14	6/19 金	(講義) 色と香りのポプリ作り・・・アフターガーデンのすすめ ・庭やベランダで育てた草花の収穫と乾燥のテクニックについて解説	50	ハーブ創作研究家 星川 雅子	6/1
15	6/21 日	(体験) 庭木の剪定・整枝 ・時期別、開花タイプ別樹木の剪定・整枝法について実習を交えて解説	30	兵庫県造園 建設業協会	6/1
16	6/27 土	(講義) 土と肥料 ・土の種類と配合法、また肥料要素の働きと使い方について解説	50	花と緑のまちづくりセンター 山田 益男	6/15

花ごよみ

	花名	4月	5月	6月
フラワーセンター	ユキヤナギ	●		
	レンギョウ	●		
	ハクモクレン	●●		
	コバノミツバツツジ	●		
	サクラ類	●●		
	ボタン		●	
	バラ		●	●
	パンジー・ビオラ		●	
	チューリップ		●	
	ネモフィラ		●	
	ハナビシソウ		●	
	サルビア			●
	マリーゴールド			●
	バーベナ			●
西猪名公園	サクラ類	●		
	オトメツバキ		●	
	ハナミズキ	●	●	
	サツキ		●	●
	ヘメロカリス			●
一庫公園	エドヒガン	●●		
	ウワミズザクラ		●	
	コブシ類	●●		
	ミツバツツジ類	●		
	ヤマボウシ		●	●
	ウツギ類		●	●
	ラベンダー(フレンチ)			●
播磨中央公園	サクラ類	●●		
	コバノミツバツツジ	●●		
	アカシア	●●		
	バラ		●	●
	ウツギ		●	●
	アジサイ			●●
甲山森林公園	サクラ類	●●		
	コバノミツバツツジ	●●		
	ミヤマキリシマ	●	●	
	ザイフリボク	●	●	
	ウツギ		●	●
	ヒメハギ	●	●	
	オカトラノオ			●
西武庫公園	サクラ類	●●		
	ユキヤナギ	●		
	ハナミズキ		●●	
	ヒラドツツジ	●	●	
	バラ		●	●
	サツキ			●●
	アヤメ			●●
	タイサンボク			●●
赤穂海浜公園	ユリノキ		●	
	キンシバイ			●●
	ヒラドツツジ		●●	
	ハナズオウ		●●	
明石公園	ソメイヨシノ	●		
	ユリノキ		●	●
	カラタネオガタマ		●	●

花と緑の行事ほか

県立都市公園、フラワーセンターでは、4月～6月にかけて、次の催しを計画しています。

4月		
フラワーセンター	春の寄せ植え展	2/26～4/19
	カラーリーフ展(室内)、サラセニア展	4/24～5/31
	春の山野草展	4/25～5/6
	チューリップまつり2009	3/1～5/6
	春咲きエビネとヤマアジサイ展示即売会	4/9～4/14
	春の植木まつり	4/11～5/6
播磨中央公園	さくらまつり	4/4～4/12
赤穂海浜公園	ネメシアを使ったハンギングバスケット作り	4/8
5月		
フラワーセンター	山野草を楽しむ寄せ植え教室	5/17
	全日本阜月会さつき展	5/28～6/2
播磨中央公園	新緑のまつり	5/3～5
	春のばらまつり	5/20～6/7
赤穂海浜公園	ミニバラを使った寄せ植え	5/13
6月		
フラワーセンター	カラーリーフ展(屋外)	6/1～6/30
	東播磨さつき展	6/4～6/9
	寄せ植えコンテスト	6/5～6/28
	山アジサイと斑入り植物展	6/11～6/16
	夏の玄関を飾る寄せ植え教室	6/14
	ウチョウランと初夏の山野草展	6/18～6/23
赤穂海浜公園	2009春の写真コンテスト入賞作品展	6/27～7/26
	ハーブを使った寄せ植え	6/10

(※日程・内容については変更することがあります。)

～ 編集後記 ～

昨年の晩秋から明石公園に訪れているかわいいお客様をご存じですか？

遠くシベリア方面からやってきた1羽のオジロビタキのオスが、バードウォッチャーの間で静かな人気ものになっています。

喉基が橙色で、白い尾羽を上下に振る姿が愛らしく、カメラの前にも人なつこく現れ、私たちの心を和ませてくれています。

国内でも年間に数カ所ではしか観察されない珍しい渡り鳥だそうです。残念ながら、春の訪れとともに、北国へ旅立ちます。

毎冬キュートな君に出会えるよう、静かな自然環境を守っていききたいですね。

花と緑のまちづくりセンターだより 8号

- 平成21年4月1日(年4回発行)
- 編集発行 財団法人兵庫県園芸・公園協会
花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎

〒673-0847 明石市明石公園1-27
花と緑のまちづくりセンター

TEL : 078 (918) 2405

FAX : 078 (919) 5186

Eメール : info_midori@hyogopark.com